

使用済みプラスチックの再資源化事業への取り組み 新会社「株式会社アールプラスジャパン」への資本参加について

日清オイリオグループ株式会社(社長:久野 貴久)は、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック問題の解決に貢献すべく、6月から事業を開始した共同出資会社「株式会社アールプラスジャパン」に資本参加し、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組みます。

当社では、事業活動を通じて持続可能な社会を実現・発展させていく目的のもと、原料・資材の調達から、生産、納品、ご使用、廃棄にいたるまで、地球環境に配慮した商品・サービスの開発・ご提供を目指し、プラスチックボトルの軽量化、分別しやすいラベル・キャップシール、再生材やバイオマスプラスチックの導入等に取り組んでまいりました。本共同出資事業への参画により、使用済みプラスチックの再資源化を推進し、バリューチェーンの一翼を担うことで持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

■共同出資事業における取り組みについて

当社が参画する株式会社アールプラスジャパンは、米国のバイオ化学ベンチャー企業であるアネロテック社(Anellotech Inc.)とともに、環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進めます。世界で共通となっているプラスチック問題の解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、モノマー製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料・食品メーカーなど業界を超えた連携により、2027年の実用化を目指していきます。

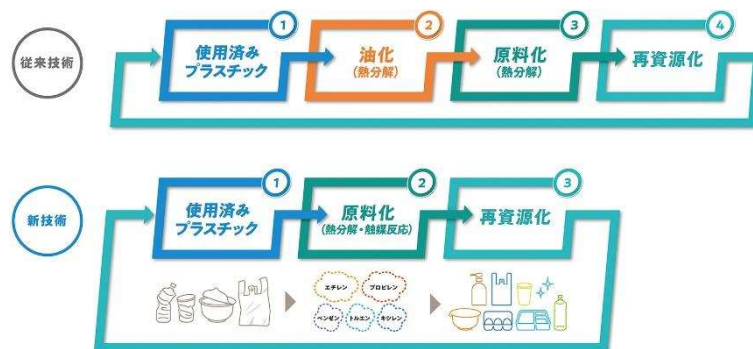
●使用済みプラスチックの再資源化技術について

現在国内では、ペットボトル以外のプラスチックの多くが燃焼^{※1}されていると言われていています。同社の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、直接原料(ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレン・プロピレンなど)に戻すケミカルリサイクル^{※2}の技術です。

従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO2排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると思っています。

※1 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー(熱利用)を含む

※2 使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする



リリースに関するお問合せ先 日清オイリオグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報・IR課

TEL:03-3206-5109 〒104-8285 東京都中央区新川一丁目23番1号

■共同出資会社の概要

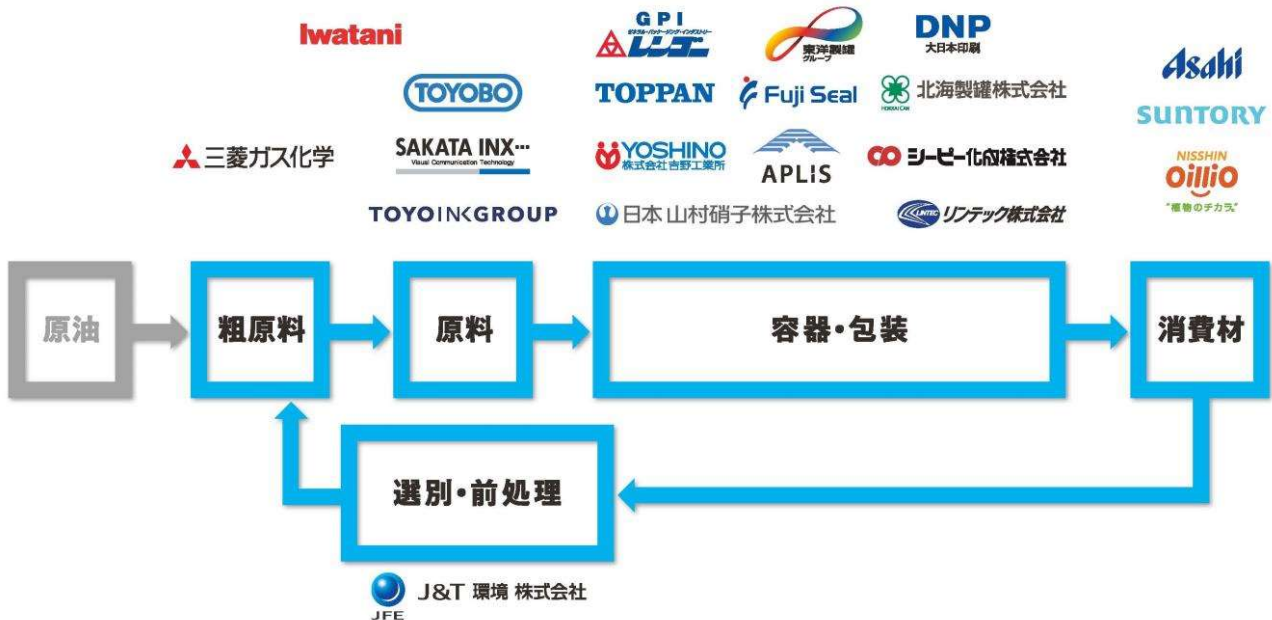
会社名	株式会社アールプラスジャパン
事業開始	2020年6月5日
本社所在地	東京都港区台場2-3-3
代表取締役社長	横井恒彦
事業内容	使用済プラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

参考: アネロテック社 (Anellotech Inc.) について

2008年創業。米国ニューヨーク州パールリバーに本社・研究開発機能をもつバイオ化学ベンチャー企業。非食用の植物由来原料から石油精製品と同一性能を持つベンゼン・トルエン・キシレンを生成する技術開発を進めている。

【ビジネスモデルイメージ】

(株)アールプラスジャパン参画企業



※画像は[こちら](#)からダウンロードできます。

リリースに関するお問合せ先 日清オイリオグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報・IR課
 TEL:03-3206-5109 〒104-8285 東京都中央区新川一丁目23番1号